

## 墨田区社会福祉法人連絡会第1回役員会 議事録

日時	令和元年9月6日（金）午後2時～3時																									
場所	墨田区社会福祉協議会（すみだボランティアセンター）																									
議題	1 今後の連絡会の活動内容について 2 今後の連絡会の主なスケジュールについて																									
出席者	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 5px;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">法人名</th> <th style="width: 33%;">役職</th> <th style="width: 33%;">氏名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>みんなのうちに</td> <td>会長</td> <td>西村 孝幸</td> </tr> <tr> <td>興望館</td> <td>副会長</td> <td>野原 健治</td> </tr> <tr> <td>賛育会</td> <td>副会長</td> <td>中村 基信</td> </tr> <tr> <td>同愛記念病院財団</td> <td>監事</td> <td>三井 光義</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">墨田区社会福祉協議会</td> <td>事務局</td> <td>西原 文隆</td> </tr> <tr> <td>事務局</td> <td>栗田 陽</td> </tr> <tr> <td>事務局</td> <td>山田 博之</td> </tr> <tr> <td>事務局</td> <td>澤 沙紀</td> </tr> </tbody> </table>		法人名	役職	氏名	みんなのうちに	会長	西村 孝幸	興望館	副会長	野原 健治	賛育会	副会長	中村 基信	同愛記念病院財団	監事	三井 光義	墨田区社会福祉協議会	事務局	西原 文隆	事務局	栗田 陽	事務局	山田 博之	事務局	澤 沙紀
法人名	役職	氏名																								
みんなのうちに	会長	西村 孝幸																								
興望館	副会長	野原 健治																								
賛育会	副会長	中村 基信																								
同愛記念病院財団	監事	三井 光義																								
墨田区社会福祉協議会	事務局	西原 文隆																								
	事務局	栗田 陽																								
	事務局	山田 博之																								
	事務局	澤 沙紀																								

## 内容

### 1. 協議事項

#### (1) 今後の連絡会の活動内容について

##### <西村会長>

ただいまから墨田区社会福祉法人連絡会役員会をはじめさせていただきます。

本日は、連絡会の設立総会后、はじめての役員会になります。

墨田区社会福祉法人連絡会規約により、役員会は連絡会の効率的な運営を図るため、連絡会の運営の方向性や連携事業について検討し、総会に提案することとされています。また、平成31年度事業計画により、今年度は役員会を随時開催することとなっています。

そこで、本日は今後の連絡会の活動内容及び主なスケジュールについてご協議いただきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

私としては、何かすぐに事業を始めるといよりは、顔が見える関係性をつくることから始められればと考えています。あらかじめ、事務局から皆さんのもとに、「他の自治体における地域公益活動の状況」を資料としてお送りさせていただきました。これらも参考にさせていただいて、当連絡会として今後具体的にどのような活動を実施するか、現在行っている事業やご意見等をお聞かせ願います。

##### <中村副会長>

私も会長と同じような意見で、この事業をすぐやりましょうということではなく、まずは顔の見える関係づくり、情報交換するという意味でも地域のネットワークをしっかりと作っていくことが今年度出来そうかなと思います。具体的にこの事業をやろうとかという意見は今はないです。

##### <三井監事>

社会福祉法人が何を行ってるのか、区民に知ってもらうことが大切だと思いますが、まずは自分たちが区内の社会福祉法人を知ることが必要だと思います。社会福祉法人の情報が記載された事業シート、地図を制作するのはどうですか。費用をかけずに、社会福祉法人の情報発信ができないかなと思います。

##### <西原>

先日、東社協の会議に出席しましたが、どのような事業を実施しようかと模索している区も多かったので、今すぐ何か事業をやらなくてはいけないということではないと思います。まずはお互いの顔が分かる関係性を築くことから始めるのがいいのではないのでしょうか。

<西村会長>

自分たちの業種以外のジャンルに関しては、分からないことが多くあって、自分たちのことは分かるが、他の業種の方には分からない制度や法律が多々ありますよね。それぞれがどんな団体で、どんな活動をしていて、どんなことを地域で目指しているのかを共通理解し合える情報交換というところから少しずつ皆さんと始めていくのが第一歩かなと思います。具体的にどのような方法で情報交換や情報共有をしていけばいいと思いますか。

社協が以前取りまとめた社会福祉法人のアンケートをもう少し内容を膨らませて、皆さんに配布するほうがいいのか、それとも一堂に集まって話をするほうがいいのか、いかがですか。

<野原副会長>

各団体ですでに地域活動を実施しているところもあるんですよね。私は各団体の地域活動に対する考え方を聞きたいです。そして参考にできたらいいなと思います。また新たなアイデアがあれば、聞かせていただきたい。早急に事業を行わず、時間をかけてまずは法人同士顔が分かるようになるのが第一歩であると思います。

<西村会長>

皆さん同じようなご意見ですね。まずは第一歩としてお互いを知り合おうということで、それでは具体的にどのように情報を共有し合うことができるのか、それぞれの事業に負担がかからない範囲でできることを話し合ひましょう。ご意見ありますか。

事務局にご負担をかけてしまいますが、各法人のメールアドレスが分かるのであれば、メールにて各法人の地域公益活動に対する考えや、思い、活動内容等を整理できるようアンケート調査をしていただくのはどうでしょうか。

規約には次に法人が集まるときは、総会になりますよね。総会では議決事項等もありますが、そういった機会のほうがお互いの顔が分かりますし、少しでも知り合う機会になりますよね。各法人の施設見学のようなことを企画する方法もありますが、どのような方法がよろしいでしょうか。

<栗田>

総会は平成31年度の事業計画の中で、年2回の開催となっています。これは1回目は前年度の事業報告と決算の承認、2回目は次年度の事業計画、予算の決定を想定しています。これらを総会で決定していただく必要があるため、年2回となっています。今年度については初年度なので、2回でなくてもいいわけです。皆さんのお話のように、まずは顔の見える関係づくり、お互いの法人のことを知るということから始めるとすれば、総会という場を活用するのもいいのではないかと思います。

その場で情報共有するのもいいですが、先ほどお話がありましたようにあらかじめ事

業に対する考えやどんな事業を行っているのか、各法人にアンケートをとりそれを集約して当日総会資料として配ったうえで議論いただいたほうが、話としてはスムーズに進むのではないかと思います。今の時点では、今年度役員会、総会しか考えられていませんので、総会にできるだけ多くの法人に出席していただき、他の法人の情報共有、顔の見える関係づくりを始めるのもいいのではないかと思います。事務局としては、今までの皆さんのお話を聞いて以上のように感じたところです。

<西原>

総会を決算の承認、事業報告などをする場だけではなく、設立総会の時のような講演を行ったり、各法人の情報公開などを行う場として活用してもいいのではないのでしょうか。

<みんなのおうち 西村会長>

今お話しをいただいて、総会を情報交換会のような形でいわゆる形式的な総会ではなく、実質的に関係性を深めていけるような会議体として行ってはどうかという提案をいただきましたが、皆さんいかがですか。

<三井監事>

各法人のもっと詳しい基本情報が載っている資料はありますか。

(準備会等で配布した、区内法人の一覧表と集約したアンケート調査結果を回覧)

<栗田>

準備会を立ち上げる前に、各法人にアンケート調査を実施した際の内容は、職員数、事業内容、現在行っている公益活動等が記載されています。内容をもう少し整理して再度アンケートを実施してもいいのではないかと思います。

<野原副会長>

地域活動の考え方は法人の大きさや業種によりますよね。医療関係や高齢者関係で考え方は変わりますよね。同愛記念病院や賛育会はどうですか。

<三井監事>

社会福祉法人の病院は無料低額診療事業で、第二種社会福祉事業に位置付けられており、生活困難者に対する医療を推進しています。

<中村副会長>

賛育会の中でも様々な事業をそれぞれの施設で実施しています。

<西村会長>

墨田区の社会福祉法人連絡会では、各法人が連携することによって地域福祉を推進することができるのかなと思います。

アンケートを改めてとる場合は、事務局の負担を考えると、書式をデータにして各法人にメールで送付したほうが管理しやすいですね。また、総会も情報交換会を中心にした総会を開催するということで進めさせていただくということよろしいでしょうか。年内を目途に総会を開催し顔が見える関係づくりをしていくということでしょうか。

<中村副会長>

アンケートの内容については、今ある情報はそのまま集約し、前回のアンケート用紙の内容で空欄が多かった質問事項は改めてアンケートをとるということでいいのでしょうか。

<西村会長>

アンケートの質問事項で、他に入れたほうがいいと思う質問は何かありますか。

<野原副会長>

社会福祉法人連絡会が設立されて、連絡会の中で今後どのように地域活動を行っていくか、社協としてはどのように考えていますか。

<栗田>

公益事業ということ視野においた場合、各社会福祉法人が持っている資源などを活用して、地域で何ができるかを各法人で一緒に考えていくことが必要と思います。そのためには、まず地域にとって何が必要なのか、ニーズ把握からはじめ、それに沿って地域でどんな活動が出来るのかを次のステップで考えるということだと思います。社協として事業に関して意見を申し上げるのは控えさせていただき、時間をかけて皆さんと考えていきたいと思います。

せっかく連絡会が立ち上がりましてので、各法人の負担になってはいけませんが、一定の活動として継続して機能することが求められていると思います。

<野原副会長>

各法人の情報交換が必要ですね。制度改正や全体的な社会情勢なども情報共有したい

ですし、各法人がどのような資源を持っているのかも知りたいです。この連絡会を有効な場として活用できるよう地域活動に対する皆さんの考え方を教えていただきたいです。同愛記念病院には病気で診察してもらいに行ったことはありますが、他にどのようなことを行っていますか。

<三井監事>

医療のほか、高齢者を対象とした特別養護老人ホームの運営、高齢者みまもり相談室事業、また児童に関しては地域待機児童問題等にも携わっています。

<中村副会長>

地域活動をやろうとって、地域活動をはじめるということではなくて、地域で「何か」があるから、その「何か」は何なのかということから地域活動をはじめるとするのが、有り方だと思います。今の話し合いを踏まえると、今各法人が抱えている課題や地域に対する考え方など、ある程度焦点を絞ったアンケートを集約することから、次のステップが生まれてくるのかなと感じました。

<西村会長>

法人の概要を把握することも大事ですが、地域に対する考え方、現在行っている活動、現在抱えている課題等を集めたものをまずは集約しましょう。冊子を作るためではなく、総会で皆さんと話をしたり、情報共有するための資料として作成し、進めていくということで考えておりますが、よろしいでしょうか。

<西原>

来年にはオリンピックが開催されます。私も区役所でオリンピック・パラリンピック地域協議会に携わらせていただいておりますが、開催に向けいろいろと問題があります。賛育会もオリンピックに対して職員教育等も行われていると聞いており、大変すばらしいと思っています。

<三井監事>

オリンピック始まりますね。うちはテロ対策を行う予定です。二次救急の指定病院として、今から東京都医師会より対応を求められています。

社協として、オリンピックのボランティアを募集はしていますか。

<西原>

社協としては募集していません。区が主体としてボランティアを募集しています。すみだボランティアセンターとしては特に考えていませんが、今後東京都から割り当てが

あるかもしれないですね。

<栗田>

オリンピック関係のボランティアは大きく分けて、大会ボランティアと都市ボランティアがあります。大会ボランティアは大会組織委員会が募集をしています。都市ボランティアは東京都で募集をしています。ボランティアセンターとしましては、福祉ボランティアという立場ですので直接オリンピックに関するボランティアではないですが、世界中からいろいろな方がお見えになります。お体が不自由な方や聴覚障害の方もお見えになるかもしれません。ですので、ボランティアセンターに登録しているボランティアが、都市ボランティアとして、力を発揮していただける場面はあるのではないかと思います。現時点では、直接社協がコーディネートすることはありません。

<西村会長>

オリンピック一つをとっても、それぞれの立場があつて、様々な形で参画していたり協力しているんですね。こういったことをざくばらんに皆さんとお話の出来る場、皆さんの情報を伝える場として総会を利用するのはどうでしょうか。必要があれば事前に資料としてアンケートをとっていただいて、地域福祉事業などのお考えを共有した上でそれをもとに話を伺うといった内容でどうですか。

〈一同賛成〉

<栗田>

アンケートを取るにあたり、こういう質問をしたほうがいいのかといった項目は何かありますか。私どもでも質問内容は検討させていただきますが、こういう質問をしたほうがいいのかという事があればおっしゃっていただけますか。

<野原副会長>

運営の課題と今後の方向性、社会福祉法人連絡会についての期待が聞きたいです。何を求め、何をするための会なのか、中身に自発性がないと意味がないので。

<中村副会長>

法人が把握している地域の課題が聞きたいですね。同愛記念病院と同じで私どもも二次救急指定病院で、特定妊婦の診療や相談を受けてます。中学生で妊婦になったり、望まない妊娠等の相談が年間400件程あります。その対応をしているだけで業務が回らなくなってしまうのが現状です。制度の狭間にいる人たちがいて、私たちは一体何をしなければいけないのか、が大きな課題となっています。そういう課題が皆さんそれぞれあると思うんですね。業務としての課題でもあるが、地域としての課題でもあり、そ

こを知っておくことだけでも違うと思います。

<西村会長>

いくつかの提案をいただきまして、事務局のほうでご意見をもとにアンケートをまとめていただくことは可能でしょうか。

事務局でそれを一度作っていただいて、各法人へ送っていただけますか。

<栗田>

このお話を踏まえて、アンケートの案を作成し、役員の皆様にお送りしますのでご確認のほどお願いします。

<西村会長>

そういった形で、皆さんのアンケートをもとに今度は顔を合わせて今のような話をより深く聞きたいと思います。

<野原副会長>

法人代表の方が出席されるのですから、あんまり細かなくて、大きな視点での話がいいですね。

<栗田>

アンケートは区内29法人に送りますか、それとも会員の22法人に送りますか。

<野原副会長>

加入してない法人は、なぜ加入しないのか理由が知りたいですね。できるだけ29法人に加入していただきたいので、29法人に送っていいと思います。

(2) 今後の連絡会の主なスケジュールについて

<西村会長>

事務局の作業等もありますが、具体的なスケジュールはどうでしょうか。アンケートを取って、回収、集約の時間を考えると年内中に総会を開催できればいいかなと思います。

アンケート案については、メールにて役員に送っていただければと思います。意見等もメールにて役員皆さんが見れるようBCCではなくCCにて送っていただければと思います。スケジュールに関しましても会場の都合等もあるかと思いますが、追って調整していただければと思います。



<栗田>

分かりました。総会日程の調整、アンケート案が出来ましたら皆様にお送りいたします。

<西村会長>

せっかくですので、他に何か今後の連絡会の活動のことでご意見はございますでしょうか。

まずは第一歩ということで、このような形で次回の総会を開催させていただきたいと思っておりますので、皆様どうぞよろしくお願いいたします。

以上で今日の役員会を閉会します。

作成者 : 墨田区社会福祉協議会 澤 沙紀